



野田ひろき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

6月県議会一般質問

社会環境や児童生徒の 状況変化を踏まえた学校教育

流山市選出の野田宏規のひろき県議は、6月定例会議で一般質問に登壇しました。そこで、学校教育や児童養護、学校に関わる人事やユニバーサルツーリズムなど多項目にわたって県民・市民の立場から県執行部の考え方をたどりました。その概要をお伝えします。

野田議員 県は令和6年2月29日に通知「校則の点検及び見直しについて」を発出、県立学校に校則の見直しを求めました。そして、令和7年4月4日には、校則の点検及び見直しに関するアンケートを実施し、その進捗を確認していると同じく、令和6年度における県立学校の校則見直し状況はどうでしょうか。



6月県議会一般質問に登壇した野田議員

野田議員 県は令和6年2月29日に通知「校則の点検及び見直しについて」を発出、県立学校に校則の見直しを求めました。そして、令和7年4月4日には、校則の点検及び見直しに関するアンケートを実施し、その進捗を確認していると同じく、令和6年度における県立学校の校則見直し状況はどうでしょうか。

野田議員 ラーケーションは、すでに愛知県等では県として取り組まれている実績もあり、加えて「こどもの休暇制度」という名称で流山市でも導入され、話題になったところでは、流山市での導入が決まったラーケーションについて、千葉県での導入を検討してはどうでしょうか。

野田議員 千葉県内の県立高等学校のなかには14の農業科など、専門学科をもつ高等学校が沢山ありますが、屋外での活動も多いことが特徴です。熱中症のリスクが懸念されているところですが、対策が十分でないように感じられます。そこで伺います。園芸科

野田議員 千葉県内の県立高等学校のなかには14の農業科など、専門学科をもつ高等学校が沢山ありますが、屋外での活動も多いことが特徴です。熱中症のリスクが懸念されているところですが、対策が十分でないように感じられます。そこで伺います。園芸科

野田議員 千葉県内の県立高等学校のなかには14の農業科など、専門学科をもつ高等学校が沢山ありますが、屋外での活動も多いことが特徴です。熱中症のリスクが懸念されているところですが、対策が十分でないように感じられます。そこで伺います。園芸科

児童養護施策の見直しを

野田議員 このところ、児童相談所の人材不足が大きな問題となっています。そこで伺います。児童相談所の採用者数の不足について、どのように対応しているのでしょうか。

野田議員 県内6児童相談所の専門職については、正規職員を採用者数が予定数に満たないなど厳しい状況が続いていることから、業務に支障が生じないよう、必要に

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

野田議員 県内6児童相談所の専門職については、正規職員を採用者数が予定数に満たないなど厳しい状況が続いていることから、業務に支障が生じないよう、必要に

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

野田議員 県内6児童相談所の専門職については、正規職員を採用者数が予定数に満たないなど厳しい状況が続いていることから、業務に支障が生じないよう、必要に

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

野田議員 児童相談所の人材の定着に向けて、どのような対応していくのでしょうか。

補助金の不交付と予防策を

野田議員 流山市内に開設予定であった児童発達支援センターに対して、県は児童福祉施設等整備費補助金の交付の内示を行っていたものの、後になって不交付を決定したという事案を耳にしております。

そこで伺います。児童発達支援センターへの児童福祉施設等整備費補助金は、児童

施設等整備費補助金の交付手続きについて、交付の内示を行った後に不交付となった事案があると耳にしますが、その経緯はどのようなもので、今後の予防策をどのように考えているのでしょうか。

健康福祉部長 児童福祉施設等整備費補助金は、児童

発達支援センター等の施設整備に要する費用の一部を補助することにより、児童等の福祉の向上を図ることを目的としています。

当該事案では、事業者が締結した工事請負契約について、県が行う契約手続の取扱いに準拠していなかったことなどから、不交付としたものです。

引き続き、当該補助金を活用して施設整備を行う予定の事業者に対し、契約手続が交付要綱に準拠するよう周知してまいります。

要望 補助金の不交付の決定について、再発防止策の整備を徹底することを要望します。

教員不足に備えよ

野田議員 学校に関連した事件等が起こり、職員に欠員が生じた際には、当該校の職員の補填や負担軽減が重要と考えますが、県立学校ではそれらどのように整備されているのでしょうか。

教育長 事件等により、やむを得ず職員が欠員となつた場合でも、生徒が安心して学校生活を送り、教育活動に影響が生じないよう、速やかに校内体制を整備する

ことが重要と考えます。そのため、県教育委員会では、学校と連携しながら、代替の講師等の配置に努めるとともに、それまでの間、校長は授業や校務分掌等を再編成し、校内体制を整えます。

また、学校のご意見等が増えることも考えられますが、これらについては本年7月1日から運用開始予定の「教育統一大綱」を

用することなどで、教職員の負担軽減を図つてまいります。**野田議員** 学校の管理権全般を有する校長の連続在校年数は2年程度であることも多く、校長が十分にその学校の實力を引き出すことのできないまま異動する事例をよく耳にします。

学校が自立して多様な環境に対応する機関となるためにも、県内各校の校長の連続在校年数について

ユニバーサルツーリズムの推進

野田議員 昨今では、誰にでも開かれた観光ユニバーサルツーリズムの推進が求められていますが、千葉県の政策はバリアフリーに

助成をするところであり、第4次計画に於いては、関連施策をソフト・ハードの両面から積極的に推進していくことについて記載してまいりたいと考えています。

野田議員 ユニバーサルツーリズム推進における目下の課題は何であると考えるのでしょうか。

商工労働部長 本県の観光地に、配慮を必要とする方々の来訪を促し、リピーターとなつていただくためには、個々の宿泊施設や観光施設が利用しやすい環境の整備を進めるだけでなく、観光地全体で面的な環境整備を進めていくことが重要であると考えています。

また、これらの観光地全体のユニバーサル対応の状況について、観光客に分かりやすく情報発信していくことが必要と考えます。

このため県では、千葉県観光立県の推進に関する条例において、ユニバーサルツーリズムについて規定し、

配慮を必要とする方々にとって利用しやすい施設等の整備や、バリアフリー対応に関する情報の提供などについて、必要な施策を講じていくこととしています。

にインバウンド誘客等ユニバーサルツーリズム推進補助事業を実施してはどうでしょうか。

知事 県では、これまで、県内観光施設のバリアフリー対応の状況について、毎年調査を行った上で、多目的トイレやエレベーター、車いすの貸出しや手話対応などの有無について、県の観光特設サイト「ちば観光ナビ」で情報を発信してきたところです。

また、市町村等が行う観光客の受入環境の整備に対して、「観光地魅力アップ整備事業」による支援を行い、観光公衆トイレの新設・改修について、バリアフリー対応のトイレとするよう求めるなど、配慮を必要とする方々にも利用しやすい施設の整備を促進しているところです。

今後、宿泊税の活用も視野に、個々の観光・宿泊施設のバリアフリー対応への支援の強化や、地域全体でのユニバーサルツーリズムの取組を促す施策について、他団体での先進事例も参考に

しながら検討を行ってまいります。

要望 バリアフリーツーリズムに関する条例を制定するなどして施策を推進しているため、そうした先行事例についても研究を深めることを要望します。

●県政や流山市のまちづくりに関するご相談はお気軽にどうぞ

野田ひろき 県事務所

〒270-0119 千葉県流山市おおたかの森北1-5-6-102
nodahiroki1989@gmail.com

野田宏規県議プロフィール

略歴

- 平成元年 流山市に生まれる。流山市立八木北小学校、常盤松中学校、芝浦工業大学柏高校を経て、同志社大学文化情報学部に入學。大学卒業後、出版社に勤務。地域活動専念のため退社。
- 平成27年 26歳で流山市議会議員に当選。
- 平成31年 流山市議会議員に再選。
- 平成3年 流山市最年少で市民経済委員長に就任。
- 平成4年 筑波大学大学院に進学(翌年修了)。
- 平成5年 千葉県議会議員選挙に立候補し、初当選。県議会史上初めて平成生まれの一般質問。

役職

- 千葉県議会文教常任委員会委員
- 「校則と児童生徒指導を考える地方議員連盟」会長
- 日本青年会議所関東地区協議会次世代教育委員長